

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 163 2017. 10. 31

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学総合情報メディアセンターC館内

日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL: 080-9730-1311 FAX:058-293-3384

E-mail: jsei@gifu-u.ac.jp <http://jsei.jp/>

日本教育情報学会「第34回年会」開催

会場：松蔭大学 厚木森の里キャンパス（予定）

神奈川県厚木市森の里若宮9の1

開催日：2018年8月25日（土）・26日（日）

※詳細は次号掲載予定

***** 第33回定時総会報告 *****

2017年8月26日（土）13:10から芦屋大学六麓荘キャンパス会議室において、日本教育情報学会第33回定時総会が開催されました。

正会員401名のうち176名の出席があり（委任状による出席者108名を含む）、定款27条により総会は成立し、林徳治会長を議長として総会を開会しました。

【提案された議案】（Newsletter No.162をご参照ください。）

第1号議案 2016年度事業報告及び収支決算の件

第2号議案 2017年度事業計画及び予算案の件

第3号議案 役員選任の件

第1号議案は、「決算書 支出の部 2事業支出」の決算額及び差額の集計違い（決算額（誤）2,582,346 ⇒（正）2,460,306 差額（誤）-112,346⇒（正）9,694）を修正し、承認されました。

第2号議案は、ニューズレター162号掲載の総会資料・2017年収支予算書案に不備があったため再提案（下表参照）の上、当日出席者68名の賛成により承認されました。

第3号議案は、原案のとおり承認されました。（資料：役員・顧問・評議員名簿）

理事会で承認された顧問、評議員について紹介がありました。

総会終了後、日本教育情報学会賞の表彰式を行いました。

2017年度収支予算書（自2017年4月1日 至2018年3月31日）

1. 収入の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
1 会 費	3,605,000	
(1) 専門会員費	1,650,000	10,000円×(155+新入会10)人
(2) 一般会員費	1,715,000	7,000円×(235+新入会10)人
(3) 学生会員費	60,000	4,000円×(13+新入会2)人
(4) 公共会員費	180,000	15,000円×12団体
(5) 賛助会員費	0	
2 入会金	22,000	22人
3 寄付金	0	
4 雑収入	450,000	
(1) 過年度会費	250,000	未納会費497,000円
(2) その他の雑収入	200,000	別刷代等
5 前年度繰越収支差額	1,490,333	
収入合計	5,567,333	

2. 支出の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
1 管理費支出	1,800,000	
(1) 会議費	200,000	運営委員会など
(2) 旅費・交通費	600,000	運営委員会など
(3) 通信・運搬費	400,000	機関誌発送費30万円、事務連絡費10万円など
(4) 消耗品費	100,000	コピー用紙など
(5) 印刷・製本費	200,000	封筒、別刷など
(6) 諸謝金	100,000	人件費など
(7) 広報費	100,000	HP改良費、リーフレット作成費など
(8) 雑費	100,000	手数料など
2 事業支出	2,570,000	
(1) 総会・年会	520,000	年会実行委員会50万円、学会賞、総会資料代など
(2) 機関誌	1,650,000	教育情報研究、Newsletter、編集委託費
(3) 研究会・委員会	400,000	研究会活動費5万円×7、委員会活動
3 予備費	1,197,333	事務局移転に係る準備・作業経費含む
支出合計	5,567,333	
収支差額	0	

***** 2017年度日本教育情報学会 学会賞受賞者 *****

1. 奨励賞（1件）

前年度の学会研究発表大会において発表された優れた研究および学会誌研究報告の中から選考する。

白井昭子（東北大学）・佐藤克美（東北大学）

「美術教育におけるインタラクティブな鑑賞用教具の試作と実践」

(第32回年会論文集, pp224-225)

2. 論文賞 (1件)

前年度刊行の学会誌『教育情報研究』に掲載された論文のうちで特に優れたものに対して授与する。

庭井 史絵 (青山学院大学大学院)

「教科による情報活用能力育成と「図書館利用指導」の比較－教師用教科指導書の記述を手がかりとした分析－」
(教育情報研究 第32巻第2号, pp13-24)

3. 特別賞 (該当なし)

***** 日本教育情報学会 第33回年会開催報告 *****

兵庫県芦屋市での年會を盛り上げていただいた方々に深く御礼を申し上げます。

第33回年会実行委員会委員長 藤本 光司

日本教育情報学会第33回年会は、「未来を拓く“人間力”を育てる」をテーマに、2017年8月26日(土)・27日(日)の両日、芦屋大学を会場として開催しました。

今年の年会は、記念講演・シンポジウム・研究発表などを含め、発表件数は100件を超え、2日間で延べ400名以上のご参加いただきました。課題研究は6セッション8会場、一般研究は6セッション9会場で構成し、それぞれの会場で熱心な議論が交わされ、新たな研究課題の発見や今後の教育実践が深まる機会であったと感じております。

初日の記念講演では、芦屋大学学長の比嘉悟氏より、「未来を拓く“人間力”を育てる－スポーツと教育を貫く芯－」というテーマのもと、比嘉学長の専門であるスポーツ教育の分野および教育行政のご経験から教育にかける熱き思いを情熱的にご講演いただきました。特に印象に残った内容として、体験→経験化→実践→結果という図式で人間力の概念を説明され、「情報を鵜呑みにするのではなく、自分の目で見たこと、体で感じたこと、そのような経験を積み重ねないと本物がわからない。つまり借り物でない本物の自分を作りなさい」と多くの学生と接しておられ、学長の大らかで温かい人間性が伝わった記念講演でした。

休憩をはさんで、年会テーマと同じ演題でシンポジウムを開催しました。コーディネータ(藤本)からシンポジウムの趣旨を説明し、6人のシンポジストにご登壇いただきました。まず、立命館大学の沖裕貴氏から、人工知能やロボットが発展していく時代において、コンピュータに代替されない力という視点で、この先、無くなる仕事、新たに生まれてくる仕事など、職業観から人間力を提案いただきました。次に、大塚商会の竹谷房寛氏は、教育系企業の立場から最新の教育環境事例や今後のプログラミング教育について提案いただきました。3人目は、ダイキン工業を定年後、現在、学生として学んでおられる高橋麻司氏から、海外勤務のご経験によるグローバルな人材育成や生涯学習(学び続けることの大切さ)の側面から人間力をご提案いただきました。一方、森之宮医療大学(元芦屋市教委学校教育部長)の伊田義信氏からは、次期学習指導要領の要点をわかりやすく提示

いただいた上で、これからの学校教育では初等から高等教育までがスムーズにバトンでつなぐような、トランジションリレーが重要であるをご提案いただきました。5人目は、国際協力機構JICA関西の郡司穰氏より、過酷な海外の国々でも対処できる人間力、国際協力として求められる人材育成という視点で提案いただきました。最後に、神戸大学の高田英一氏（神戸大学）からは、教学とIR（Institutional Research）という視点で、教育活動をどのように可視化し評価していくのか。クオリティーの高い教学を維持するためには、整合性の確保し内部の質保証および継続的な改善を実施することが需要であると提案いただきました。

懇親会は、福山記念館4階のAホールにおいて約130名の参加を頂きました。JAZZバンドの生演奏をBGMにお料理を楽しんでいただきながら、バレエコース学生による舞踏など懇親会に少し色を加えてみました。他方では、年会運営の新たな推進力として産学連携を深める活動に力を注ぎました。その結果、17社の企業様から広告掲載や展示に賛同いただき、参加者へのホスピタリティを充実できたのではないかと感じております。

最後になりましたが、ご発表の皆さま、ご参加の皆さま、広告掲載や企業展示を快諾いただいた各種企業の皆さま、年会開催にご尽力いただいた実行委員や本学教職員の皆さまに、この場を借りて熱く御礼申し上げます。



懇親会の集合写真（芦屋大学バレエコースの学生さんたちとともに）

***** お知らせ *****

◆年会費納入のお願い

【2017年度】年会費および【過年度年会費】について、まだ納入がお済みでない方は、至急お手続きをお願いいたします。12月末までにお振込みがない場合は学会誌の送付を停止させていただきますので、お早めにお振込みをお願いします。

なお、「払込取扱票」を紛失された方は下記宛に振り込みをお願いします。

会費振込先

郵便振替口座：00840-5-133924

加入者名：日本教育情報学会

会員氏名・会員種別・会員番号は必ずご記入ください。

お支払いいただいた際の振込金受領書は大切に保管してください。会費お支払い等についてご不明な点のある方は、事務局までお問い合わせください。